

お取引先各位

注染手拭の価格改定につきまして

平成 22 年 11 月 5 日
東京和晒株式会社
代表取締役 瀧澤一郎

(経緯と趣旨)

注染のみならず日本の染色業は、圧倒的な低価格で生産する中国及びその他新興国の影響で壊滅的に衰退し、国内の染料需要は落ち込む一方です。

それゆえ染料メーカーも一部染料の生産中止や、生産調整による価格調整を行い結果的に染料代金が概ね 20～30%上昇してしまいました。

染料を大量に使う注染においては影響が大きく、これまでの加工料金では採算が合わなくなってまいりました。

さらに、環境問題対策として、排水規制の強化により金属系の薬品が使えなくなり、代替品では能率が低下してコストアップの一因になっております。

一方では、お客様の要望するデザインが複雑化し、注染技法では難易度の高いものが増え、また、小ロット化している現状では著しく生産性が低下しており、染工場各社の経営を大きく圧迫しております。

そこで、経営を健全化し、注染という伝統産業を維持継承していくため、平成 23 年 1 月より注染手拭の価格を改定させて頂くことと致しました。

改定内容詳細に関しましては、平成 23 年 1 月に発表させて頂きますが、現行料金に比較して、概ね、白地手拭は+3%UP、総型・地染手拭は+5～10%UPになります。

長引く円高デフレで市況が大変悪いことも十分承知しておりますが、事業継続の為にご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、年内ご発注分につきましては現行料金にて対応させて頂きますので、需要予測の出来るものに関しては、ご発注頂けますようご案内申し上げます。